

「さようなら原発・ひだか」通信
第20号
2017年6月
こまがわ団地2-3-201
小野田 まき

盛会でした

「太陽の蓋」上映会・6/3

6月3日に開催された、映画「太陽の蓋」の上映会には、およそ70人が参加しました。

アンケートには、

- ・若いひとに見てもらいたいと思った。
- ・みんなが知るべきもので、素晴らしかった。
- ・その時のことが蘇りました。姪が富岡にいました。
- ・官邸にさえ情報が満身に届いていなかったことに驚きました。「核」は世の中にあってはならないものだと実感しました。
- ・原発問題・沖縄問題も、良い映画が多数あるので是非上映してほしい。

などなどが寄せられたそうです。

主催された皆さん、有難うございました。

原発とめよう 七タウオーク

今年も是非おいで下さい

7月1日(土) 16時から、飯能南口
とめよう七タウオーク」が、今年も行われます。

★ 7月1日(土) 16時～解散・17時30分
飯能南口～飯能北口

大勢で参加し、「原発はなくそう！」

の声を響かせましょう。



作業員が被ばく

原子力機構・大洗センターで、作業員が被ばくという事故が起きました。規制委では「プルトニウムなどは吸入汚染を起こさないことが常識。作業手順が妥当だったのか」とか、他人事みたいに言って作業員の方たちはたまったものではありません。プルトニウム239というものは、原爆の材料にもなり、半減期は約2万4千年です。灰に吸引された場合長くとどまり、強い発がん性が認められています。

原発がある限り、作業員は危険にさらされる、だからやっぱり「さようなら原発」を手放さず粘り強い運動を続けて行く以外ありません。



前号の訂正

ホームページアドレスが間違っていました。
お詫びして、訂正いたします。

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand/2702/peace/heiwa.html>